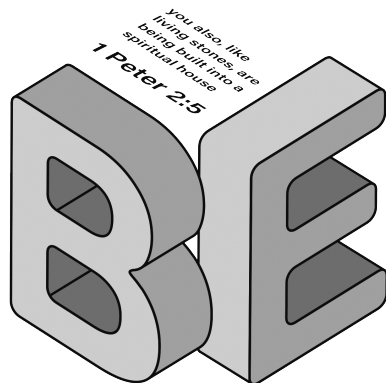


YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。
ペテロの手紙第一 2章42節

2025/4/28(月)

レビ 23:23-44

- 第7の月の1日はどんな日かな？ (24-25)
- 第7の月の10日はどんな日かな？ (27、32)
- 第7の月の15日はどんな日かな？ (34、39-43)

✨現代では、農家でない限りは何かを収穫することはないかもしれないけど、皆も学校生活やお仕事の中で一つ一つ達成していることや自分自身収穫になっていることがあると思います。それを書き出して、感謝のお祈りをしてみよう！

2025/4/29(火)

レビ 24章

- 聖所で主の前に整えておくべきことがあった。「絶えず整えておく」という命令は、クリスチャンの歩みに照らすとどういう意味があるだろう？
- 神をののしる罪に対して、人は死を持って償わなければならない。加えて、神様は「目には目を、歯には歯を」とも言われた。神様は人間が必要以上の報復を与えてしまう性質があることをご存知だったので、それ以上はいけないという意味で与えた命令だよ。後にイエス様は神様の本当の心を人々に教えられた(マタイ5:38-48)。
 - ・神様を恐れて歩むということについて考えてみよう！

2025/4/30(水)

レビ 25:1-28

- 神様は7年目を安息年として土地を休ませること、そして安息年を七度重ねた翌年(五〇年目)をヨベルの年とし、解放が宣言された。
- 聖書にはヨベルの年が実施された記録は残っていない。畑に種を蒔かず、収穫しないということを実際に行う時、人はどんな気持ちになるだろう？神様を信頼するということにおいてどんなチャレンジがあるだろう？
 - 今日、心から神様に信頼して歩むなら、どんな歩みとなるだろう？手を止めて、神様の前に静まろう。信仰によって歩むことができるように祈ろう！

2025/5/1(木)

レビ 25:29-55

- 住居の買い戻しの権利はどれくらいまであるかな？29節
- レビ人はどうだったかな？32節
- この箇所は一般人とレビ人の人や土地の売り買いについて書かれているね。この箇所のヨベルは束縛からの解放を意味しているよ。エジプトからの神の民の解放から来ているんだ。だから貧しくなった人や土地も建物も対象なんだ。ヨベルはこれらのものが神の物であると教えてくれてるよ。君は神様にゆだねられてるかな？神様に祈って今日もゆだねてでいてこう！

2025/5/2(金)

レビ 26:1-26

- 3-13vには神様の祝福について書いてあるね。何をすれば祝福を受けられるかな？3v
- 逆に14-20vには呪いと取れることが書いてある。何をするとそうなるのだろう？14-15v
- 聖書の語る祝福の基本原則はとてもシンプルだよ。神様に従うなら祝福があり、背くなら呪いがある。ただ、その原則を受け取るには信仰が必要だ。未来のことはだれも分からないからね。きみはどんな人生を歩みたい？そうなるために必要なことはなんだと思う？

2025/5/3(土)

レビ 26:27-46

- 神様の祝福の約束が確かにあるのと同時に、神様に従わない歩み、罪の結果もあることが今日の箇所で見られるね。厳しい罰があることを聞くと、「神様は愛の方なのになんで？」と思う人もいるかもしれないね。
- 大切なのは、神様は私たちが罪を犯してしまうことを知っておられるということ。そして、その結果から永遠の死に行くことを決して望まれていることを覚えていこう。厳しい罰があったとしても、その先で自分の罪に気づき悔い改めて永遠のいのちに生きることを望んでくださっているんだ。それはひとり子をお与えになったほどに私たちを愛しているからだよ。
- 神様の愛の大きさを思い出して今日も歩んでいこう！

2025/5/4(日)

レビ 27:1-15

- レビ記27章では、自発的なささげ物について語られています。
- これは人の弱さに配慮された現実的な内容で、誓いを果たせない時の代償方法が示されています。奉献物は人や家畜、家や畑などがあり、評価額によって代償できます。誓いは慎重に行い、果たすべきとされています。イエス様も銀貨三十枚で売られましたが、それは当時の奴隷の価格でした。私たちは神様の心を覚えて、自らを献げて歩んでいきましょう。